

2026

9.9 (水)

12:10
12:50

12:10-12:15

◆発表者紹介

12:15-12:40

◆プレゼン

12:40-12:50

◆質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_3RXJGnYkSDyd3mdRk8OeBg

【技術支援】九州大学 Q-AOS

医療・介護・保健・行政データを統合した 大規模 Real World Data (LIFE Study) の 開発と社会実装



Key Words



データベース疫学

ライフコースアプローチ

健康

福田 治久 准教授

九州大学 医学研究院 医療経営・管理学講座

慶應義塾大学商学部を卒業後、京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻の専門職学位課程および博士後期課程を修了し、博士（社会健康医学）を取得しました。日本学術振興会特別研究員、医療経済研究機構の研究員・主任研究員を経て、2013年から九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座の准教授として在籍しています。2024年には、文部科学省の科学技術賞（開発部門）を受賞しました。

医療 DX の進展に伴い、公的データベースや自治体保有データ等の二次利用により、予防、保健、医療、介護及び福祉の質の向上が求められています。しかし、その司令塔となるべき自治体では、①対象住民の同定、②事業の到達、③サービスへの接続から、④発症、重症化、要介護化及び死亡といった帰結までを一貫して実施・評価できていません。背景には、データが部署ごとに分散し、連結用の共通 ID がなく、個人情報保護の要請も強いことがあります。そこで私たちは、これらのデータを個人単位で統合し、20年間追跡するプロジェクト（LIFE Study）を立ち上げました。本報告では、開発過程と概要、及び社会実装の方向性を紹介します。